

# 2022年 事業報告書

2022年4月 1日から

2023年3月31日まで

学校法人河智学園

## 1. 法人の概要

名 称 学校法人 河智学園（昭和59年12月1日法人設立）  
代表者 理事長 河智 達子  
住 所 大阪市東住吉区山坂1丁目19番24号  
電 話 06 - 6622 - 1788  
FAX 06 - 6622 - 4932

### 設置する学校

住 所 大阪市東住吉区山坂1丁目19番24号  
名 称 田辺幼稚園

### 役 員

理 事 6名  
監 事 2名  
評議員 13名  
理事会 2回開催  
評議員会 2回開催  
職 員 8名

## 2. 事業の概要

（ 田辺幼稚園 ）

### 教育方針

仲良く遊ぶ子、考える子、やさしい子

### 教育内容

歴史のある幼稚園です。大正11年の創立です。基礎学力の充実、国際感覚の養成（英語に親しむよう保育します）、情操教育の重視、基礎体力の向上等に努めています

	3歳児(満3歳児)		4歳児		5歳児		クラス数計	園児数計
	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数		
定 員	1	25	1	25	1	25	3	75
2021年度	1	17	1	19	1	26	3	69
2022年度	1	24	1	19	1	20	3	66
2023年度	1	25	1	22	1	21	3	64

### 保育時間

月～金曜日

午前9時～午後2時30分

第1・第3・第5土曜日

午前9時～午前11時30分

### 諸経費

項 目	金 額	
入園準備金	40,000円	入園時
保護者負担金	各市が定める金額	

施設充実費	10,000円	入園時
教育・保育充実費(月額)	4,000円	
給食費(1食)	330円	
行事費	別途	別途
預かり保育	別途	別途

#### 預り保育

月～金曜日 午前7時30分～保育開始時間(午前9時)

保育終了後(午後2時30分)～午後7時

土曜日 午後1時(事前要予約)

#### 行事实施状況

春の親子遠足、散歩遠足、参観、プール開き、七夕のまつり、お泊まり保育、おいも掘り、ぶどう狩り、秋の運動会、バザー、クリスマス会、作品展、六甲山(人工)スキー場雪すべり、おゆうぎ会

#### 施設関係

園地面積 560.00m<sup>2</sup> 運動場面積 401m<sup>2</sup>

園舎面積 576.97m<sup>2</sup>

#### 設備関係

スネアドラム

#### 事業報告

わが国は、結婚しないと出産しにくい社会なので、新型コロナウイルスの影響による婚姻率(人口千人当たり件数、2015年～19年の平均4.9から、20年4.3、21年4.1)の低下、既婚女性の出産控え、未婚女性の希望子ども数が2人から1.58人を下回る状況になり、2022年の出生数は、79万9千人(日本人の確報ベースでえは77万人)と超少子化が進んでいる。岸田総理大臣は、出生率を反転させるため従来と次元の異なる少子化対策の実現を表明し、4月に子ども家庭庁をスタートさせ、「こども未来戦略会議」を開催し、6月の骨太方針までに将来的なこども・子育て予算の倍増に向けた大枠を示す決意を改めて表明した。

一方、教職員採用が厳しい状況が続いているが、府内の養成校においては、募集定員を大幅に割り込み、学園存亡の危機を迎える状況となっているので、採用不安の解消は程遠い状況である。また、第211回国会において、私立学校法の改正が可決され、「執行と監視・監督の役割の明確化・分離」の考え方から、評議員・評議員会の権限強化の見直しを中心に寄付行為の全面改訂の手続きが予定されている。

平成27年4月より子ども子育て支援新制度がスタートしたが、移行が進み、令和5年4月では、6割近い園が新制度に移行し、160園が私学助成で事業の継続を予定しているが、当園は、新制度に移行して園を運営しています。

自己評価については、確実に実施し公表しているが、その自己評価の内容を、学

校関係者評価委員会で十分検討して頂き、別紙のとおり纏め公表に努めた。

財務面では、事業活動収支計算書より、教育活動収入計が 81,961 千円（対前年比 0.68%、82,520 千円）、教育活動支出計 73,942 千円（対前年比 3.39%、76,536 千円）、教育活動収支差額 8,018 千円（前年度 5,984 千円）、教育活動収支差額比率 9.78%（前年度 7.25%）、経常収支差額比率 9.79%（前年度 7.26%）の経営状況となった。

また、人件費比率（人件費 / 教育活動収入計 + 教育活動外収入計）は、55.79%（前年度 53.04%）となり、前年度より上昇した。

翌年度繰越支払資金は、当年度の保持すべき資金（第 4 号基本金）の額を相当上回る額の支払資金を保持できているので、資金繰りは問題ない。

### 3. 財務状況

別紙参照